

## 週報

## 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	2018年												2019年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~7日	7月 ~14日	7月 ~21日	7月 ~28日	8月 ~4日	8月 ~11日	8月 ~18日	8月 ~25日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	22	24	31	25	39	32	0 (11)	25
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	20	6	10	15	15	15	0	5
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	1	2	1	1	3	0	0	9
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	3	4	1	3	2	6	2	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	3	1	4	10	2	3	2	5
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	2	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	1	0	1	0	1	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	0	0	0	0	0	1	0

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

### 広島県感染症発生動向週報

令和元年第34週(8月19日~8月25日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1		1	1	3	1	
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4	1					1	2
四類	5	日本紅斑熱	5	1		2		1		1
五類全数	30	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	1				1		1
		ジアルジア症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1				
		梅毒	5					2	2	1
		百日咳	20				1	19		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

## 定点・全数把握疾患週報【広島市】(第34週 8/19～8/25)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

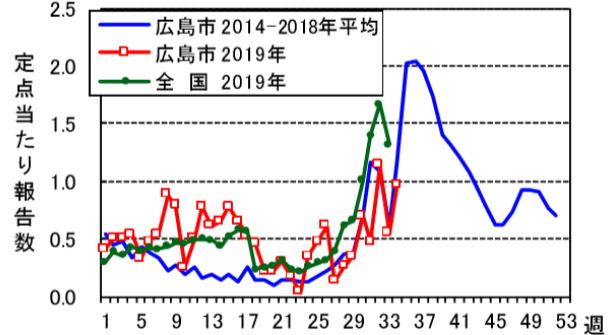
## 1. RSウイルス感染症

定点当たり0.96人の報告がありました。  
全国的にも報告数が増加していますので、手洗いの励行、咳などの症状がある場合にはマスクを着用するなど感染予防対策を徹底しましょう。

## 2. 日本紅斑熱

1件の報告がありました。  
日本紅斑熱はマダニに刺されることで感染します。  
山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンを着用するなど、肌の露出を少なくし、マダニの付着を防ぎましょう。

RSウイルス感染症の流行状況



第33週はお盆期間中で、医療機関の休診の影響により患者報告数が少なくなっている可能性があり、正確な比較ができないため、第34週は「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	3	0.08	0.01			小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.68		
小児科	咽頭結膜熱	9	0.39	0.37			眼科	RSウイルス感染症	22	0.96	1.16		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.39	1.12				急性出血性結膜炎	-	-	0.05		
	感染性胃腸炎	91	3.96	3.67			基幹	流行性角結膜炎	3	0.38	1.46		
	水痘	6	0.26	0.54				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	29	1.26	1.91				無菌性髄膜炎	-	-	0.08		
	伝染性紅斑	17	0.74	0.27				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31		
	突発性発しん	8	0.35	0.47				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	15	0.65	0.99				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## ■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	109	女性(40歳代)、女性(80歳代)、女性(90歳代)
4	日本紅斑熱	1	1	男性(50歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	5	男性(60歳代)
5	梅毒	2	58	男性(50歳代)、女性(50歳代)
5	百日咳	19*	54	男性(10歳未満)・8人、女性(10歳未満)・6人、男性(10歳代)・3人、女性(10歳代)・2人

\* 2019年第7～33週までに診断された報告遅れの16件を含む。

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	発熱(38.7) 下痢 結膜充血	2	男	2019/07/15	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
ヘルパンギーナ	発熱(40.8) 口内炎	3	男	2019/07/16	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
その他の疾患	発熱(41.3) 咽頭炎 熱性痙攣	1	女	2019/07/16	鼻汁	パラインフルエンザウイルス3型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載